

2025 年度 大阪府障がい者スポーツ大会（知的障がい者団体競技） ソフトボール競技 実施要領

1 競技日程

(ア) 競技日時・組み合わせによる。

(イ) 組み合わせは、主催者で厳正なる抽選を行い決定する。

なお、競技日時及び組み合わせの抽選結果については各競技、11 月下旬までに各チームに通知する。

2 競技規則

令和 7 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、本実施要領の定めるところによる。

3 競技方法

(ア) 試合はトーナメント方式とし、3 位決定戦は実施しない。

(イ) すべての試合は 5 回までとし、試合開始後 60 分を経過した後は、新しいイニングに入らない。同点の場合はタイブレークを行う。ただし、延長は 2 回を限度とし、それでも同点の場合は、最終回に出場していた選手 9 名の抽選によって勝敗を決定する。

(ウ) 試合は 3 回終了後、10 点以上の差がある時は得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断され、コールドゲームとなった場合は、3 回以上の回を終了していれば、正式の試合と認める。

(エ) ファーストピッチにより行う。

(オ) パスボールは適用しない。

(カ) 不正投球が行われたときは、審判により注意（指導）を行う。2 度目以降は不正投球として処理する。

(キ) 第 2 ストライク後の空振りアウトとする。振り逃げ規定は適用しない。

(ク) スクイズ（3 塁に走者がいるときのバント）は認めない（バッターアウト）。

(ケ) 盗塁が行われた時、該当する走者はアウトとする。

(コ) 投手が投げたボールを、打者が打たなかった場合、ホームベースを通過する時点でボールデッドとする。そのため、盗塁、けん制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。

(サ) ボールデッド後のプレー再開の判断は、捕手が投手に返球し、セットを始めたときとする。その時点で走者が帰塁していない場合は、遅延行為とする。走塁に関わる遅延行為があった場合は、審判により注意（指導）を行う。2 度目以降は該当者をアウトとして処理する。

(シ) 選手の応急手当が必要な場合や強雨・雷雨時、及び選手の健康状態を維持するために、給水タイムを実施した場合の時間計測は行わない。

(ス) 試合球は公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製 3 号球とし、主催者が用意する。ただし、練習球は各チームで用意すること。

(セ) 指名プレーヤー（D P）及び再出場（リエントリー）を採用する。

(ソ) 競技場のフェア地域及び塁間距離と投球距離は、女子の規格に準じる。

(タ) 荒天等により主催者が試合中止を決定した場合、主将（又は代理者）の抽選により勝敗を決定する。

※主催者が試合続行は困難と判断した場合の試合中止等の指示には必ず従ってください。

(チ) 各試合の招集時刻は原則として試合開始時刻の 5 分前とする。なお、延長により試合時間が延びた場合、試合終了後の 5 分後に招集、試合終了後の 15 分後に試合開始とする。

- (ツ) ホームランライン (60.96m) をダイレクトで超えた場合は、ホームランとする。それ以外でラインを越えた場合は、エンタイトルツーベースとする。
- (テ) 試合前の守備練習は 5 分間とする。
- (ト) 打順表は、受付時に各チーム代表者へ配布する。これに記入の上、試合開始 30 分前までに 5 部作成し、大会本部へ提出すること。なお、ベンチに入るメンバーは、原則として、申込書に記入されている者のみとし、直前の変更は認めない。
- (ナ) 申込書の内容を変更する場合は、大会当日の 10 日前までに大会事務局へ申し出るものとする。
- (ニ) 主催者の判断により、その競技の本質を損なわない範囲で競技方法を一部変更して採用する場合がある。

4 競技服装

- (ア) 原則として、同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同色・同意匠の帽子をかぶらなければならない。
- (イ) ビブスを着用し出場するチームは、ビブス以外の服装については統一したものを着用する。ビブスは、各チームが用意するものとする。
- (ウ) 背番号は原則として、監督は 30 番、コーチは 31 番と 32 番、主将は 10 番とし、他の選手は 1 番から 99 番の番号とする。また、申込み時に登録した背番号と同じ番号をつけること。
- (エ) 打者・打者走者・走者、次打者及び 1・3 塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付きマスク・捕手用ヘルメット・ボディプロテクター及び膝当て付きレガーズを着用する。各チームが用意するものとする。
- (オ) 金属製スパイクの使用は禁止する。

5 組み合わせ等

- (ア) 組み合わせは主催者で厳正な抽選を行い決定する。シードは設けない。
- (イ) 抽選の結果、組み合わせ表の番号の若いチームが、1 塁側とする。

6 その他

- (ア) 第 1 試合出場チームは受付開始時刻に、その他のチームは試合開始時刻 1 時間前までには、会場に到着しているものとする。
- (イ) 表彰式は、競技終了後に競技場で行い、優勝・準優勝チームそれぞれに賞状を授与する。
- (ウ) 監督会議は実施しない。事前の申し入れや協議事項がある場合、文書にて大会事務局に問い合わせること。
- (エ) ベンチ内には、原則として試合中の監督、コーチ及び登録選手以外入場できない。
- (オ) 事故等が発生した場合、主催者で応急処置は行うが、それ以降の責任は一切負わない。参加するチームは必ず傷害保険に加入すること。さらに必要な場合は医師の診断を受けるなど自己責任において健康と安全について十分留意すること。
- (カ) 主催者で記録用の写真を撮影するほか、参加選手・役員の氏名、容姿などが成績と共にマスコミに報道される場合があるので、その点を理解したうえで申し込むこと。また、事務局が入手した、出場選手・役員の個人情報は大会参加調整事務のみに使用し、それ以外の目的では一切使用しない。
- (キ) その他、不測の事態が発生した場合の取り扱いは、主催者において判断する。